

KYOUSEI DAYORI

-きょうせいだより-

第34号 令和6年12月

CONTENTS

- ・ 矯正施設所在自治体会議
九州地域部会が開催されました
- ・ インタビュー
不登校を考える親の会代表
- ・ 検証！特殊詐欺事犯を知る
- ・ あなたの街の矯正施設⑭
沖縄刑務所



矯正を知ろう！再犯防止をもっと身近に！

きょうせいだよりってなに？

本誌は、地方公共団体や民間団体の皆さまに、法務省の再犯防止の取組や矯正施設のことなどを知ってもらいたいという思いを込めて配信するお便りです。日々の業務の合間に手に取ってご覧いただき、私たち矯正のことを少しでも身近な存在として感じていただければ幸いです。



矯正施設所在自治体会議九州地域部会が

大分刑務所において開催されました！



矯正施設所在自治体会議とは

矯正施設が所在する市町村の首長間でネットワークを形成し、矯正施設が所在する自治体が率先して、地域ぐるみの再犯防止施策の推進、矯正施設の人的・物的資源を活用した地域創生策等のために、情報交換、調査研究、国及び都道府県への政策提言、地域住民への啓発活動等を行うものです。



▲ 豊後大野市長



◀ 辰本氏による講演

本年11月27日（水）、大分刑務所において、令和6年度矯正施設所在自治体会議九州地域部会が開催され、九州各県の矯正施設所在自治体からは、15自治体が会員となっており、7自治体11名が出席され、矯正からは矯正局、福岡矯正管区及び大分県内の矯正施設が出席いたしました（福岡矯正管区管内の大分県外の矯正施設はオンラインで聴講しました）。

本年度の九州地域部会では、議長である豊後大野市の川野文敏市長から開会の挨拶がなされた後、大分刑務所長による大分刑務所の概況説明が行われました。続いて、大分県土木建築部建築住宅課の辰本健治氏による講演が行われ、「居住支援が支える再犯防止」をテーマに、刑余者も含む住宅確保要配慮者の支援体制を整えるためのネットワーク構築についての話がありました。その後、矯正局と当課から矯正の取組について説明を行い、大分刑務所の施設見学が実施されました。施設見学では、受刑者の居室や大分刑務所の特徴的な作業であるガラス工場を見学しました。施設見学後、本地域部会参加自治体で取り組まれている再犯防止施策について情報共有等がなされ、最後に、福岡矯正管区の髭右近竜紀管区長からの閉会の挨拶で幕を閉じました。

参加自治体からは、「自治体間の情報共有の場となり有意義であった」、「矯正施設あつての自治体であり、今後も矯正施設と連携して再犯防止に取り組んでいきたい」といった意見が挙げられるなど、我々矯正職員にとっても、大変感慨深い機会となりました。

今後も、矯正施設とその所在自治体の連携を更に強化し、再犯防止を推進していきたいと思っておりますので、引き続きのお力添えをよろしくお願い申し上げます。

interview

やまぐち ゆみこ
山口 由美子さん
— 不登校を考える親の会
「ほっとケーキ」代表 —

西鉄バスジャック事件

平成16年5月、佐賀駅から福岡の天神に向かって走っていた高速バスを、当時17歳の少年が突然乗っ取り、乗客に包丁を振りかざしました。この事件で、乗客1名が死亡、4人が重軽傷を負いました。

この事件で恩人である友人を亡くし、御自身も重傷を負った被害者である山口由美子さんは、現在、親の支援や子どもたちの居場所を作る活動をされています。今回はその山口さんにお話を伺ってきました。

親と子の支援

磯（当課課長）…山口さんが現在行われている活動について教えてください。

山口…不登校の子を持つ親が悩みを語り合える親の会「ほっとケーキ」と、子どもたちの居場所である「ハッピービバーク」の運営、それから、佐賀少年刑務所に入所してきた受刑者の方たちに対して、月に一回、講話をしています。

磯…山口さんが親と子の支援活動

を始めることになったきっかけは何だったのですか。

山口…事件後、被害者支援団体の代表が私のところに来て、「（加害者の）あの子にも居場所があればよかったね。」と開口一番に言われたんです。もともと、私の子どもが不登校になり、悩んでいた時期があったので、私は加害少年が不登校から引きこもりになっていたことを知り、代表のその言葉が腑に落ちました。そこから私はこうした少年たちのための居場所を作りたいと思うようになりました。事件から一年後、私は仲間と共に不登校の子を持つ親の会を設立し、さらにその一年後に子どもの居場所を設立しました。

磯…親と子の支援活動について詳しく教えてください。

山口…親の会は、不登校の子を持つ親が、お互いに悩みを話し合える場所です。親は、子どもが学校に行かないやいけないという思いが強いから大変です。学校に居場所がないから家にいるのに、家にも居場所がなくなったら子どもは辛い。子どもではなく、親の考え方、向き合い方が変わるよう働きかけたいです。

子どもの居場所は、基本、遊ぶだけで、勉強は一切しない。したい子はしますけど。子どもは遊びの中で学ぶ。遊びは自主的じゃないですか。勉強はさせられる。そこが違うんです。

磯…与えられることが多い中で、自分で考えて自主的に動くということですね。活動の中で、どのような時にやりがいを感じますか。

山口…居場所に来たばかりの頃には、下を向いて目も合わせられなかった子が、「ここではない子でなくても大丈夫」と思えた時、笑顔で目と目が合うようになります。その瞬間に、この子はもう大丈夫と思えます。

磯…活動の中で、どのような時に難しさや苦勞を感じますか。



山口…親にかき回されることはありますね。親が居場所に来て、子どもに、家にいるときと同じようなことを言うんです。私はその親に、「ここにはしばらく来ないでくれ」と言いました。私は、子どもたちの居場所を家とは違った場所にしたいんです。社会は、不登校の人間を支援しようとはしますが、支援される側は、自分で何とかできると思っているのに、それを望んでいません。自分の価値観を自分で決めたいと思っっています。だから、親から頭ごなしにああしろこうしろと言われる場所にはしてはいけませんです。

刑務所でも同じことが言えると思うんです。私は私の話をしていくけど、受刑者が話を聞きながら、「ああそうか。」と自分で気づいたことを感想文に書いてくれたりするんです。それは本当にうれしいです。こう言われたからこうするっていうのとはちよつと違う。

私は事件で亡くなった友人と出会って、いろいろあるけど、私は私でいいと自己肯定



「育て直しができれば人はきちんと生きていける。そう思うくらい人を信じたい。」

感を高めさせてもらえたので、逆にいろんな人を受け入れることができるんですね。

磯…親の会や子どもの居場所は、そのご友人の影響があるんですね。

山口…そうですね。子どもを信じて待つっていう向き合い方ですね。ただ、子どもを信じられるというのは、親が自分を信じていないとできないんですよ。そこをね、親が問われているなというも思っています。信じて待てるか。親を絶対否定しないし、自分で自己肯定感を高めていけるような会話が大事だと思っっています。

皆そうなんですけど、ただ話を聞くということが一番大事なんです。つい色々言いたくなるじゃないですか。でも、答えやアドバイスはいらない。それを不登校だったうちの娘から教えてもらいました。

佐賀少年刑務所に おける講話

磯…山口さんが佐賀少年刑務所での活動を始めることになったきっかけは何だったのですか。

山口…今から18年前に、佐賀少年刑務所の職員から、受刑者の入所時教育として講話をしてくれないかという依頼があったことがきっかけです。

受刑者への講話は、私の話が何の役に立つのかと思って何度もやめようと思いましたが、でも、受刑者の方の中には涙を流しながら私の講話を聴いてくれる人もいますし、感想文に、私の言葉で何か少しでも感じるものがあつたと書かれていた時には、続けていて良かったなと思ひ、嬉しくなります。一人でもそうやって自分の心を開く人がいてくれたら、行ってもいいかなと思ひうようになって、それで続けてさせてもらっています。

磯…刑務所や少年院には、ハルディキヤップなど様々な生きづらさを抱えた人がいますが、その立ち直りのために、山口さんが必要だと思ひうことを教えてください。

山口…失敗しても大丈夫と思ひうてる社会にしなきゃいけないと思ひいます。今は特に普通の人間でも生きづらひ社会ですもんね。支援を続けているからこそ、いろんなことが分かつてきて、今はどんな子でも大丈夫だと思ひえます。

磯…どんな子でも大丈夫と思ひえるのがすごひです。

山口…そういう感じで付き合ひっているから、相手に伝わるんですよ。どこまでも信用されたら、誰だつて変わるしかないじゃないですか。

加害者も加害者になる前は被害者だつたと思ひいます。バスジャックした少年もいじめめという被害にあつて、事件を起こした。その被害体験をどこかで話せていたら、あの事件は起こつていなかったと思ひいます。私は、被害者として、加害者からの謝罪もあつたし、病院での看護も手厚かつたから、今、こうやって講話ができるんだと思ひいます。多くの被害者は、加害者からの謝罪もなければ、賠償金も支払われない。恨むしか道がない。被害者の方には、一人でもいいから、寄り添ひ続ける人がいてくれることが大切だと思ひいます。

検証！特殊詐欺事犯を知る



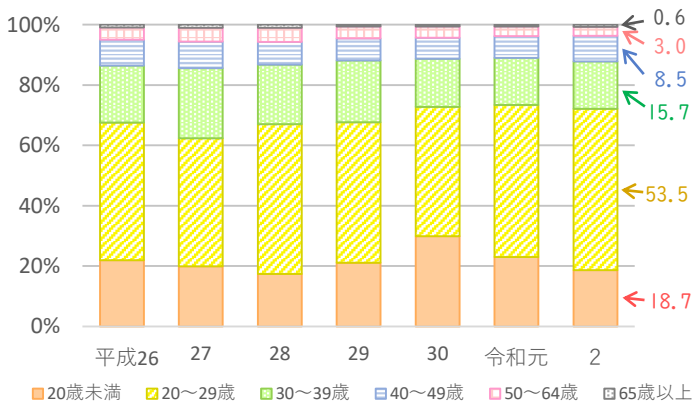
(出典：令和5年版犯罪白書、令和3年版犯罪白書)

特殊詐欺の現状

特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みやその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪の総称です。社会情勢の変化等にに応じて手口の巧妙化・多様化が進んでいます。

特殊詐欺は、平成15年夏頃から目立ち始め、平成16年には認知件数が約2万5700件に達し、その後も2万件前後で推移しました。平成20年に「振り込め詐欺撲滅アクションプラン」が警察庁と法務省の共同で策定されるなど対策が強化されると、一旦は大きく減少しまし

図1 特殊詐欺 検挙人員の年齢層別構成比の推移



- 注1 警察庁刑事局の資料による。
2 本図は、資料を入手し得た平成26年以降の数値で作成した。
3 オレオレ詐欺、架空料金請求詐欺、融資保証金詐欺及び還付金詐欺の検挙人員に限る。ただし、令和2年のオレオレ詐欺には預貯金詐欺を含む。※
4 犯行時の年齢による。

※特殊詐欺の類型の詳細（図1に関連するもののみ）

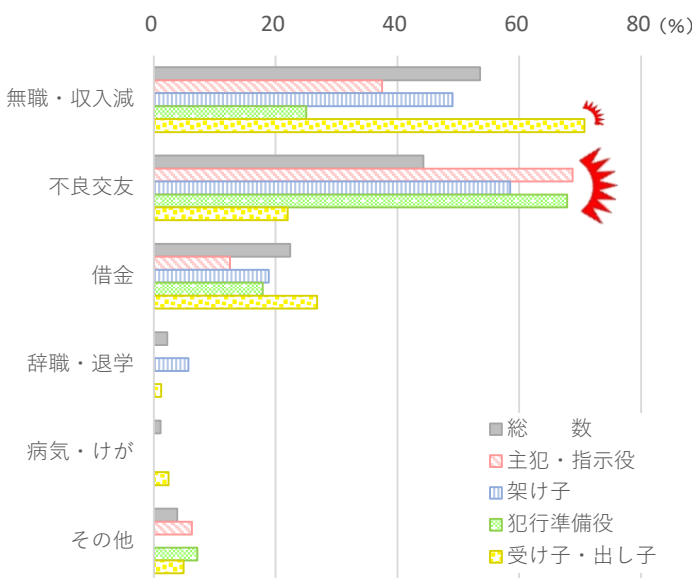
オレオレ詐欺	親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
預貯金詐欺	親族、警察官、銀行協会職員等を装い、あなたの口座が犯罪に利用されており、キャッシュカードの交換手続が必要であるなどの名目で、キャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
架空料金請求詐欺	未払いの料金があるなど架空の事実を口実とし、金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
融資保証金詐欺	実際には融資しないにもかかわらず、融資を申し込んできた者に対し、保証金等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
還付金詐欺	税金還付等に必要の手続を装って被害者にATMを操作させ、口座間送金により財産上の不法の利益を得る電子計算機使用詐欺事件又は詐欺事件をいう。

たが、再び増加し、近年も1万件を超える水準で推移しています（令和4年は1万7570件）。

図1は特殊詐欺4類型（オレオレ詐欺、架空料金請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金詐欺）の検挙人員について、犯行時の年齢層別構成比の推移を見

たもので、検挙人員における30歳未満の若年者層の構成比は、詐欺全体で

図2 特殊詐欺事犯者 背景事情（総数・特殊詐欺の役割類型別）



- 注1 法務総合研究所の調査による。
2 犯行時の背景事情が不詳の者を除く。
3 各項目に該当した者（重複計上による。）の比率である。

は30%台で推移しているのに対し、特殊詐欺4類型に限ると、62%台から73%台の間で推移しています（令和2年は72.1%）。

図2は、特殊詐欺事犯者のうち、東京地方裁判所、横浜地方裁判所、さいたま地方裁判所及び千葉地方裁判所で判決の言渡しを受けた者について、特殊詐欺に及んだ背景事情を総数・役割類型別に見たものです。経済状況や交友状況が背景事情の多くを占めており、役割類型ごとに見ると、主犯・指示役、架け子、犯行準備役は「不良交友」が最も高く、受け子・出し子は「無職・収入減」が顕著に高くなっています。

（次ページへ続く）

検証！ 特殊詐欺事犯を知る



(出典：令和5年版犯罪白書、令和3年版犯罪白書)

刑務所や少年院での指導

平成28年12月に施行された再犯防止推進法において、犯罪をした者等に対し、その特性に応じて必要な指導及び支援を行うことが規定されたことなどを踏まえ、法務省矯正局は、平成29年3月、特殊詐欺を行った受刑者を対象とする指導のための視聴覚教材及びワークブックを作成しました。これは、特殊詐欺を行った受刑者に、被害者の心情及び事件の重大性を認識させ、しよく罪の方法を考えさせるとともに、再犯を防止するため、事件に至るまでの自己の問題点等を振り返らせ、健全な金銭感覚及び職業観を身に付けさせる内容となっています。自己学習又はグループワークのいずれの形式での使用も可能な教材です。

また、少年院においても、各施設の実情に応じ、特殊詐欺再犯防止指導の取組が行われています。少年院に入院している特殊詐欺事犯の少年の大半は、「受け子」、「出し子」などの末端の役割を担っており、被害者の心情を実感できにくく、罪障感の醸成が課題となっています。罪障感の醸成のため、被害者が受けたであろう失望、不安、落胆等の感情や、親族等からの非難、現実的な生活面での困難を実感できるよう、各施設で工夫した指導が行われています。

自治体情報



大分県 再犯防止相談窓口を 開設しました

ご相談ください

☎080-5109-8071

窃盗（万引き等）や暴力行為などの犯罪を繰り返し行ってしまうご本人やご家族は、「更生したい（させたい）」が、どこに相談したらいいかわからない」といった悩みを抱えています。こうした再犯の悩みに対応する相談窓口として、「大分県再犯防止相談窓口」を7月に開設しました。窓口では相談員が、ご本人の状況や生活環境等を把握し、福祉などの適切な支援につなげていきます。この相談窓口は、社会福祉法人恩賜財団済生会支部大分県済生会が大分県から受託し、設置しております。一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

- 相談員（社会福祉士・精神保健福祉士）が、原則、電話による相談を受け付けます。
- ご相談の内容によっては、適切な支援機関や団体などの紹介も行います。
- 匿名の相談も受け付けます。

相談受付期間 令和6年7月23日～令和7年3月31日

相談受付日・時間 火曜日・水曜日（祝日・年末年始を除く）
午前9時～午後5時

対 象 大分県内在住あるいは、大分県への帰住などを予定している罪を犯したご本人、ご家族や親族・関係者等

※利用に伴う電話の通話料金は、相談者の負担となります。

大分県では、犯罪をした人等は、矯正施設退所後等の社会生活において、住まいや就労の確保が難しいなど様々な生きづらさを抱えている場合が多いことから、本人の状況や生活環境に応じた福祉などの適切な支援につなぐための相談窓口を設置しています。

掲載したい情報をお持ちの自治体の方は、お気軽に当課までご連絡ください。



質問やご意見、取り上げてほしい事項などありましたら、当課までお気軽にご連絡ください。

お問合せ先

福岡矯正管区 更生支援企画課 福岡市東区若宮5丁目3番53号

TEL:092-661-1143（直通） FAX:092-663-1001

MAIL:1.fukuokakyousei.9jf@i.moj.go.jp



沖縄 刑務所



南城市



所在地：沖縄県南城市

あなたの街の
矯正
施設
Vol.14

POINT

沖縄刑務所の特徴

沖縄刑務所は、明治12年に県警察本部の直轄として設置された沖縄監獄に由来しています。その沿革は沖縄の複雑な歴史と連動しながら、日本政府、琉球政府の所管を経て、本土復帰と同時に法務省の所管となりました。現在の建屋に新築移転したのは昭和54年で、今年で45年目を迎えます。沖縄県は飲酒運転での検挙率が全国1位であり、お酒が絡む犯罪により入所する者が他県と比較して多いのが特徴です。それゆえ当所の改善指導においては、酒害関係のプログラムを充実させており、民間協力者と密に連携しながら指導を実施しています。

社会復帰を 見据えた取組

※1 職親プロジェクトと連携し、大半の受刑者が参加した仕事フォーラム、要件を満たす者から希望者を募り実施した職親企業説明会の他、メタバース仕事フォーラムについてもコレワーク（矯正就労支援情報センタールーム）とも連携して実施、参加しています。

※2 また、施設外で行う社会復帰支援についても、今年度は特別調整の者を中心に、帰住先となるグループホームや就労継続支援B型事業所等の見学を行うことで、社会復帰への動機付けを高める取組を実施しています。



▲メタバース仕事フォーラム

▼刑務所外に出て見学する様子



※1 職親プロジェクト：（公財）日本財団と企業が連携し、少年院出院者や刑務所出所者の更生・社会復帰を就労・教育・住居・仲間作りの面から包括的に支えることで、「誰でもやり直しができる社会」の実現を目指す民間発意の取組。

※2 特別調整：高齢又は障害があり、適当な帰住予定地がなく、釈放後直ちに福祉サービスを受ける必要のある者について、地域生活定着支援センターに依頼し、調整を行うこと。

VOICE

現場職員の声 —福祉専門官—

「残飯以外なら何でも食べます。」これは、支援を行う地域生活定着支援センター職員との面接時、嫌いな食べ物は何か問われた際、ある受刑者が発した言葉です。40代のこの受刑者には知的障害がありました。複雑な成育環境において適切な支援につながる機会が得られないまま、時には路上生活を送るなど不安定な生活の中で窃盗を繰り返していました。刑務所は、このように支援からこぼれ落ち、地域社会から「見えない」存在とされた人々が行きつく場所になってはいませんか。相談支援に携わる者として、改めて考えさせられた場面でした。

受刑者の支援は福祉分野においても特別視される傾向にあり、出所者の中には地域で「支援困難者」と呼ばれる人がいることも事実です。しかし、彼らが抱える様々な困難や生きづらさは、決して犯罪をした人に固有のものではなく、地域に暮らす支援を必要とする人々にも共通するものではないかと思えます。彼らが孤立することなく安心して人とつながれる地域社会は、誰にとっても生きやすい地域社会である。そう考えながら、日々様々な関係機関と連携し相談支援に取り組んでいます。

